

丹沢秦野で脈々と受け継がれる市民参加型の音楽祭

第九

Symphony No. 9



ソプラノ
藤谷佳奈枝



テノール
糸賀修平



メゾ・ソプラノ
吉成文乃



バス・バリトン
後藤春馬



指揮 三ツ橋敬子

©Earl Ross

2023 2.26 日

クアーズテック秦野カルチャーホール 大ホール

開場 13:30 開演 14:00

合唱 丹沢音楽祭合唱団

合唱指導・丹沢讃歌

指揮 藤丸崇浩 ピアノ 渡邊純子

一般 3,500円 学生 2,000円

全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮下さい。

第33回 丹沢音楽祭

プログラム ▶▶ 森一歩作詞・加藤正二作曲「丹沢讃歌」 ▶▶ ベートーヴェン 交響曲第9番 ニ短調 作品125「合唱付」



管弦楽 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

©K.Miura

主催：第33回丹沢音楽祭実行委員会 協力：秦野市合唱連盟、秦野市音楽協会 協賛：株式会社関野建設、株式会社リマインド

お問い合わせ クアーズテック秦野カルチャーホール ☎ 0463-81-1211

出演者プロフィール

ツ橋敬子 (指揮) 東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。小澤征爾、小林研一郎、ジェルメティ、アツツェル、シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光の各氏に師事。2006年トスカーナ管弦楽団とのツアーを指揮してヨーロッパデビュー。2008年第10回アントニオ・パドロッティ国際指揮者コンクールにて優勝。併せて聴衆賞、パドロッティ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠に輝いた。2010年第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。これまでに札幌交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団等と共演している。2021年4月、コロナ禍においてNHK交響楽団デビューを飾り、その堅実な解釈力と手腕に対し各方面より称賛を得た。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 (管弦楽) 1975年4月、自主運営のオーケストラとして設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁する。年間100回を超える公演は、定期演奏会および特別演奏会をはじめオペラ、バレエ公演やポップスコンサート、映画音楽、テレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点としてティアラこうとう定期演奏会をはじめとする各種コンサートや公開リハーサル、楽器の公開レッスン、音楽鑑賞教室、アウトリーチ活動など、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。2019年3月にはウラジオストクとサンクトペテルブルクにおいて團伊玖磨のオペラ『夕鶴』を常任指揮者 高関健指揮のもと演奏し、日本のオペラ作品の魅力を海外に発信した。同年4月より藤岡幸夫が首席客演指揮者に就任。2021年5月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会 (演奏会形式) を開催。コロナ禍での開催ながら、海外から世界最高峰のワーグナー歌手陣を招き大成功を収め、2022年8月に第30回三菱UFJ信託音楽賞を受賞。

藤谷佳奈枝 (ソプラノ) 香川県出身。東京藝術大学卒業、同大学院オペラ科修了。イタリア国立パルマ音楽院首席修了。第76回日本音楽コンクール2位、岩谷賞 (聴衆賞) を受賞。サイトウ・キネン・フェスティバル松本にて、小澤征爾指揮『こどもと魔法』にて唯一の日本人キャストとして出演、同作CDがグラミー賞受賞。近年ではマレク・ヤノフスキ指揮『ラインの黄金』フライア、『ワルキューレ』オルトリンデ、『神々の黄昏』ノルン3、『第九』ソリストにてNHK交響楽団と共演。ミッコ・フランク指揮『こどもと魔法』安楽椅子・コウモリ役としてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演。イタリア留学中には『秘密の結婚』『愛の妙薬』『ランスへの旅』『蝶々夫人』『結婚手形』などに出演。ローム・ミュージック・ファンデーションの在外研究生、奨学生。香川県文化芸術新人賞、よんでん芸術文化奨励賞、第58回グラミー賞において、クラシック部門「ベスト・オペラ・レコーディング」賞を受賞。

吉成文乃 (メゾ・ソプラノ) 獨協大学外国語学部ドイツ語学科卒業。獨協大学在学中に交換留学生としてオーストリアに渡り、ウィーン大学にて音楽学を学ぶ。帰国後、東京藝術大学音楽学部声楽科に入学し、同大学卒業、並びに東京藝術大学大学院音楽研究科 (修士課程) 独唱科修了。A.シェーンベルクの歌曲研究で修士号取得。2018年度、福島育英会奨学生。在学中、第64回藝大オペラ『魔笛』に童子Ⅲ役で出演。これまでに、第31回江戸川区新人演奏会出演オーディション声楽部門で第一位受賞、第30回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール声楽部門にて優秀賞受賞、第2回パーゼル国際声楽コンクールプロフェッショナル部門ファイナリスト。これまでに新国立劇場合唱団、パッサ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして活動を重ねた。佐々木典子、手嶋眞佐子、Konrad Jarnotの各氏に師事。現在ミュンヘン在住。

糸賀修平 (テノール) 武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。イタリア・フィレンツェ、ドイツ・ベルリンにて研鑽を積む。第1回エンツォ・ソルデッロ国際コンクールで入賞し、ロッセーニ『セヴィリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵役を獲得。イタリア・クーネオにおけるCultura del Mondo festivalで演じた。国内では、新国立劇場

『フィガロの結婚』ドン・クルツィオ、『蝶々夫人』ゴロー、『カルメン』レミングダドの他、プリテン作曲『ピーター・グライムズ』では、急遽ボブ・ポウルズ役の代役を務め、好評を博した。その他、二期会『ダナエの愛』メルクル、『こもり』アルフレード、ジョン・ミョンファン指揮『蝶々夫人』ゴロー、オペラ夏の祭典『トゥーランドット』ボン等に出演し、いずれも高い評価を得る。コンサートでも『第九』をはじめ、オルフ『カルミナ・ブрана』等のソリストとして活躍。今後は、2023年2月新国立劇場『ファルスタッフ』バルドルフォ、5月『サロメ』ユダヤ人にて出演予定。二期会会員

後藤春馬 (バス・バリトン) 国立音楽大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。ロンドンで研鑽を積む。その後、オランダ国立オペラアカデミー修了。『ドン・ジョヴァンニ』レポレッロで欧州デビューを飾る。2012年には、パンフィック・ミュージック・フェスティバルに合格し、指揮者F.ルイージと共演。また、OEKでの『セヴィリアの理髪師』では、バジリオを好演。指揮者M.ミンコフスキーと共演を果たす。これまで、『フィガロの結婚』フィガロ、『カルメン』エスカミーリョ、『アルジェのイタリア女』ムスタファ等数々のオペラに出演し、いずれも高い評価を得ている。パロックから現代音楽まで幅広いジャンル、言語のレパートリーを持ち、オランダ・コンサートヘボウでのコンサートにも出演。『第九』をはじめ、ヘンデル『メサイア』等のソリストもつとめる。今後は、2023年1月新国立劇場『タンホイザー』、4月東京・春・音楽祭『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』、11月日生劇場『マクベス』に出演予定。昭和音楽大学非常勤講師。二期会会員

藤丸崇浩 (合唱指揮) 日本大学法学部卒業後、1998年W.パウエルファイント演出『椿姫 (ヴェルディ)』ガストンでオペラ・デビュー。そのうち東京芸術大学声楽科 (テノール専攻) に進み、コンサート歌手として「東京シティフィル第200回記念定期演奏会」等にソリストとして客演する。また、オペラ「不思議の国のアリス (木下牧子)」の恋の主題による3つのデッサン (森山智宏) 等の初演に携わり、その意欲的な現代作品への取り組みは特筆される。一方、その活躍のフィールドは演奏のみにとどまらず、飯守泰次郎指揮『第九交響曲 (ベートーヴェン)』などのオーケストラ公演において合唱指揮を務める。声楽を君島広昭、山口悠紀子、山口俊彦、直野賢、故B.ダル・モンテの諸氏に師事するかたわら、F.E.ダルディーニャ氏らの指導を受けた。第23回丹沢音楽祭「第九 (ベートーヴェン)」、第25回丹沢音楽祭「アイダ (ヴェルディ)」、第27回丹沢音楽祭「レイクエム (モーツァルト)」、第29回丹沢音楽祭「ドイツ・レイクエム (ブラームス)」、第31回丹沢音楽祭「メサイア (ヘンデル)」で合唱指導を務めた。



渡邊純子 (合唱ピアノ) 神奈川県秦野市生まれ。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。松元みなと、吉村真代の両氏に師事。2007年より国内唯一のプロ合唱団である東京混声合唱団のピアニストを務め、大阪や青森をはじめとする全国各地での一般公演や、文化庁主催の学校公演など数多くを担当。山田和樹、松井慶太、伊藤翔ら指揮者各氏と共演している。2008年早稲田大学グリークラブのブラジル演奏旅行に同行、5都市7公演全てにおいてピアニストを務めた。第23回丹沢音楽祭「第九 (ベートーヴェン)」、第25回丹沢音楽祭「アイダ (ヴェルディ)」、第27回丹沢音楽祭「レイクエム (モーツァルト)」、第29回丹沢音楽祭「ドイツ・レイクエム (ブラームス)」、第31回丹沢音楽祭「メサイア (ヘンデル)」でリハーサルピアニストを務めた。



丹沢音楽祭合唱団 今回で33回を迎える市民参加型の丹沢音楽祭は、音楽をこよなく愛する人々の手に寄って紡がれてきました。世界的指揮者・三ツ橋敬子マエストロ指揮、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団で贈るベートーヴェン「第九」に多くの参加者が集いました。その数、総勢約130人。秦野の第九を成功させよう、歌声を丹沢の山々へ、そして世界に平和の歌声を響かせようという「気概」と「喜愛」に満ちた合唱団です。

チケットお求め・お問い合わせ

クアーズテック秦野カルチャーホール

窓口購入 (秦野市平沢82) または電話予約 (☎0463-81-1211)

年明けから「チケットぴあ」でも販売予定

- ▷WEB予約 … <https://t.pia.jp/> ※別途手数料がかかる場合があります
- ▷店頭購入 … セブンイレブン
- ▷発券場所 … セブンイレブン、ファミリーマート、直接配送 等



〒257-0015 神奈川県秦野市平沢82 Tel 0463-81-1211

第1～第7駐車場 約850台 (無料) ※開場時間は異なります